



みんな輝け和泉っ子

# 和泉

2月号

## 地域防災訓練と避難訓練

校長 平井 克明

今年度の地域防災訓練は、11月から1月18日へ変更されての実施となりました。当日は横浜初の雪が降る寒い一日となりました。参加した480人の皆さんに、福島県浪江町を訪れた時に聞いた、請戸小学校の震災時の避難についての話を、次のように伝えさせていただきました。

【請戸小学校では、地震直後に打ち合わせ通りに引き取り訓練が開始され、保護者の来るのを待っていました。その時、6m以上の津波が来ると情報が入りました。副校長先生は初めての体験でしたが、直感で海から340mしか離れていないここは危険だと判断し、すぐに引き渡しを中止し、約2km離れた大平山への避難を開始させました。1年生はすでに下校していて、2年から6年までの77名と教職員13名で高台をめざして走らせました。最後に副校長先生が全員を避難させた後、貴重な資料だけ持ち車で高台に避難しました。無事に避難し、車を降り高台に着いたとき、振り返ると町一面は海になり、乗ってきた車も波にのまれていたそうです。学校関係者は全員無事に避難できました。

さてこの奇跡はどのような背景があったのでしょうか。福島県教育委員会の方々に聞くと、請戸小学校では津波による避難訓練を行うのではなく、いざと言う時に高台まで2kmを走りぬぐための体力作りを欠かさずに実施していたそうです。普段から培った走る力が、いざと言う時に命を守ることに繋がったとのこと。私たちは防災訓練や避難訓練を特別な場合を想定して行うのではなく、いつ来てもそのまま実施できるように、真剣な心構えで行っていなければならないのだと痛感しました。】

さて、和泉小学校でも、地震（震度5未満・震度5強）と火災を想定して年に8回訓練を行っています。指示を出してから整列の完了まで、約6分間かかります。この訓練こそが児童と職員全員を守るための手段だと思います。特別なことではなく、いつも通りに、いつでもできることを心掛け、命の学習と児童には伝えていきます。

私たちの国は、地震国家と言っても過言ではありません。震源地が九州、関西、北陸、東北、北海道近くになる地震が、ここ10年起きています。地震はいつ来てもおかしくないと思えるくらい発生しています。いざと言う時に普段やってきた通りに、しっかり行動できるように、これからも防災・避難訓練を本校では行って行きたいと思っています。



河北新報 2013.8.11



地域防災訓練 消防団の皆さん

## 他校の児童と交流を深めました ～4・5組 泉区合同宿泊体験学習～



12月5日(木)・6日(金)の1泊2日で、4・5組は泉区合同で行われる上郷宿泊体験学習に参加しました。児童みんな宿泊体験学習への期待に胸を膨らませて、元気に出発しました。バスの中でも楽しく過ごし、最初の目的地よこはまこども科学館では、見学のマナーを守り、館内を見学することができました。友だちと一緒に食べるお弁当の時間は、とても楽しそうでした。上郷森の家では、自然散策やミニゲームなどを協力し合いながら楽しく活動することができました。そして、2日目のなかよし集会では、他の学校の友だちと歌を歌ったり、ゲ

ームをしたりして一緒に活動を楽しみながら、交流を深めることができました。帰ってきた子どもたちの顔からは、2日間みんなで仲良く頑張ったという充実感を感じることができました。自分の役割をしっかりと果たすことができ、他校の子どもたち、そして、和泉小のみんなと協力して過ごした2日間は、子どもたちにとって大きな成長につながりました。これからも、行事を通して成長していけるよう支援していきます。



## ロボットの活躍に感動しました ～5年 自動車工場

### 見学～



1月9日(木)、5年生は日産自動車横浜工場と日産グローバル本社ギャラリーへ社会科見学に出かけました。横浜工場では、エンジンを作る様子を見学しました。工場内では、ラインにのった1台のエンジンが、たくさんの組み立て工程を経て、少しずつ出来上がっていく様子を見学することができました。オートメーション化された工場内では、多くの「ロボット」が活躍しており、その動きを間近で見ることができました。また、日産グローバル本社ギャラリーでは、日産の様々な自動車に実際に乗ることができて、自動車工業の素晴ら

しい技術を目の当たりにすることができました。

働く多くの人々の姿を見たり、仕事の工夫の説明を受けたりすることで、働く人の思いを感じることができたのではないかと思います。子どもたちは、事前の学習で得た知識をもって見学に臨み、実際に自分の目で見ることでなお一層学習を深めることができました。



## 選挙体験をしました ～6年 選挙フォーラム～



1月27日(月)、6年生は泉区選挙管理委員会の方々を講師に迎え、選挙の仕組みや投票の仕方についてお話を伺いました。また、フォーラムの後半には、実際の選挙と同じ流れ、同じ用具を用いて選挙体験をさせていただきました。担任がそれぞれの揚げ物党の党首になり、給食のスペシャルメニューをアピールしました。子どもたちは各党の演説を聞き、自分の考えに一番近い党首に1票を投じました。投票台で党首の名前を慎重に書いたり、実際の投票用紙は開票作業がしやすいように特殊なプラスチック

でできていて投票箱の中で開くようにできていることに驚いたりするなど、選挙への関心が高まったようです。この経験から、将来子どもたちが正しく選挙権を行使することにつながると嬉しく思います。投票の結果選ばれた給食のスペシャルメニューについては、3月までのお楽しみです。

